

図2 学校教育費の支出額構成

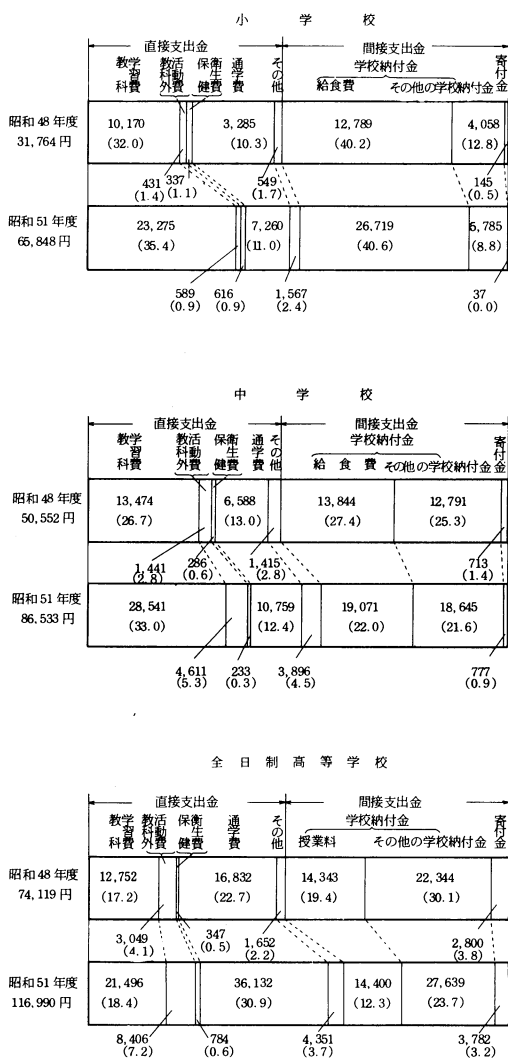


表4 学年別に見た父兄が支出した学校教育費 (児童・生徒1人当たり1年間)

区分	学年	昭和48年度		昭和51年度	
		円	円	円	円
小学校	1	37,381	79,135		
	2	28,080	56,364		
	3	29,733	60,187		
	4	28,941	65,027		
	5	31,535	60,382		
	6	34,917	73,990		
中学校	1	54,692	98,810		
	2	44,996	76,620		
	3	51,968	84,175		
全日制高等学校	1	94,293	137,868		
	2	76,573	118,474		
	3	51,827	94,633		

五、学年別に見た学校教育費
 父兄が支出した学校教育費を、学校種類別、学年別に示したものが表4である。
 これによると、学校教育費は、小・中・全日制高等学校を通じて、第一学年における支出額が最も高くなっている。

これは給食費に次いで高く、全日制高等学校でも通学費等に次いで高くなっている。
 この教科学習費について、教科書費(高等学校のみ)、教科書以外の図書費及び学用品・実験実習材料費に区分して、その構成比を見たのが図3である。
 小・中・全日制高等学校とも学用品・実験実習材料費の占める割合が最も高いことを示している。
 次に、この学用品・実験実習材料費を各品目別に示したものが表2である。

図3 教科学習費の構成(昭和51年度) %

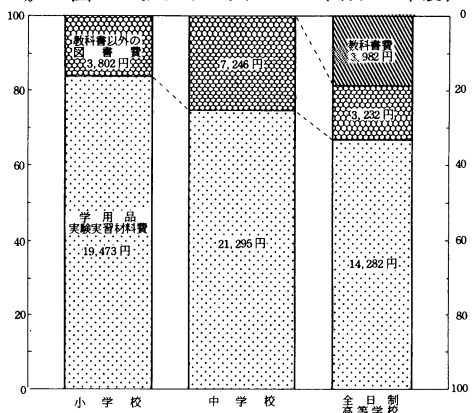


表2 父兄が支出した学用品・実験実習材料費(昭和51年度) (単位:円)

区分	小学校	中学校	全日制高等学校
計	19,473	21,295	14,282
鉛筆	1,182	1,029	844
色鉛筆	492	228	88
ノット	2,034	3,084	3,026
筆記用具類	3,245	3,355	3,015
実験・実習用具・材料費	...	2,227	2,545
用紙類	751	690	368
体育着用品	8,331	7,770	1,823
その他の学用品	3,438	2,912	2,573

表3 父兄が支出した通学費(51年度) (単位:円・%)

区分	小学校		中学校		全日制高等学校	
	額	(比率)	額	(比率)	額	(比率)
通学費(計)	7,260	(100.0)	10,759	(100.0)	36,132	(100.0)
交通費	564	(7.8)	5,194	(48.3)	27,076	(74.9)
通学用品費	6,696	(92.2)	5,565	(51.7)	9,056	(25.1)

父兄が子供の学校教育のために支出した経費のうち、高い割合を占めている通学費のうち、高い割合を占めている通学用品費と通学用品費に分けて見たのが表3である。
 この表から、学校段階が進むにつれて通学用品費の占める割合は低下し、交通費の占める割合が高くなっている。

また、鉛筆・色鉛筆・用紙類及びその他の学用品費は、学校段階が進むにつれて低くなっているが、ノートは小学校が最も低い。